

開催趣旨

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の蔓延は、パンデミックとされ、世界に大流行する事態になっています。2020年12月時点では世界中で7千万人を超える累計の感染が報告され160万人以上の方がなくなっていますし、日本でも20万人近くの累計の感染者数そして3千人近くの亡くなられた方がいらっしゃいます。

ワクチンの開発が進み来年中には接種が進むようですが、少なくとも今後の1～2年は感染症とともに生きていかなければなりません。そのためには、感染症対策に留意し、マスク着用や手指消毒洗浄また3密の回避など社会的距離をとることなど、社会経済活動の自粛や医療資源の再配置を含む様々な対応が必要となっています。

こうした感染症に対応した新しい暮らし方が、当分の間、日常の暮らしになっていかなければなりません。シールド越しの社会活動やリモートワーク、ネットワークの活用を進める経済活動が盛んになってきていますが、それらは「New Normal」と呼ばれることもあります。そしてこうした変化は、感染症が終息した後も、おそらく私たちの暮らし方を大きく変えていくことになると思われます。

こうした現状は、実は私たち日本サステナブル・コミュニティ・センターがこれまで課題としてきた持続可能な社会の構築という目的と同じ課題に直面していることができます。またその問題にICTの先端技術で応えていこうとしてきた私たちと同じく、日本社会全体においてデジタル技術によって「新しい日常」生活様式を再構築していこうとしているのです。

以上のような問題意識から、第22回京都研究会では、「withコロナ時代の持続可能な地域づくり」をテーマとして、コロナ禍そしてコロナ後を見据えた持続可能な社会づくりを考えてみたいと思います。感染症流行下での京都研究会ですので、今回は、オンライン研究会として開催することといたしました。多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

特定非営利活動法人
日本サステナブル・コミュニティ・センター
代表理事 新川 達郎

●お申し込み: 下記アドレスにメールをお送りください。
担当: 小川 info@dokokaru.net

●参加費: 無料

プラン	対 象	一 般	SCCJ会員 (企業・団体/個人)・学生 および地方公共団体職員の方
研究会 (13:30～)		無料	無料

withコロナ時代の
持続可能な地域づくり

第22回京都研究会

http://www.sccj.com/kk/2020-2021

SCCJ

Sustainable Community Center Japan

2021年1月22日 (金)
13時ログイン開始～17時半

Zoom 開催

※事前申込先着順



研究会

13:30～17:30

●SDGsとソーシャル・イノベーション

■演者: 新川 達郎 (同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事)
品川 啓介 先生 (立命館大学テクノロジー・マネジメント研究科教授)

●withコロナ時代における市民活動

■演者: 隅岡 敦史
(NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター理事)

●withコロナ時代を支えるIT業務支援システムの状況

■演者: 竹原 司 (株式会社ファーマティ代表取締役社長/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事)

●with COVID-19時代の健康情報管理

■演者: 北岡 有喜 (独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問)

●【会場参加者・演者を交えた総合討論会】
「withコロナ時代の持続可能な地域づくり」

■コーディネータ: 新川 達郎 (同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事)
■登壇者によるパネルディスカッション

※ 演題名は変更の可能性があります。

主催: 特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター (SCCJ)
共催: 同志社大学人文科学研究所

お問い合わせ: SCCJ E-mail: info@dokokaru.net